

「わかたけきつぎ」

開所して4ヶ月が過ぎようとしています。新しい建物も生活感が出てきています。元気盛りの年齢層にはエネルギーの発散をどうすれば良いのか判らず、貯め込んだ物が時たま爆発しているようです。小学1年から高校3年までの12名がひしめき合っている毎日、ルールを作るのは自分たち(入所児達)だからと話していましたが、してはいけない事のルールばかりが増えてしまっています。もう少しで魔の夏休みです。禪を締め直して頑張ろう。

児童発達支援管理責任者

鈴木誠一

味保育園

「今日は楽しかった。明日は何をして遊ぼうかな。」保育園での生活と遊びが充実したものとなるように、職員一同力を合わせて保育をしています。

5月にはわかたけさんのご協力で、さつまいもの苗植えをしました。芋苗の隣の畑には、とうもろこし、きゅうりの花の種も蒔きました。子どもたちは「大きくなったかな」と見に行きペットボトルで水やりをしています。「何にして食べようかな」と収穫を心待ちにしています。

7月の夕涼み会では子どもたちの作った提灯を飾り、親子で参加し楽しみました。



▲さつまいもの苗植え



▲味保育園の畑

した。5歳児さくら組さんの御神輿や、盆踊り等保育園職員のゲームコーナーに加えて、わかたけさんに模擬店の出店も頂きました。保育園職員だけでなく皆さんの協力を頂き、子どもたちの体験の幅が広がっています。これからも子どもたちがいきいきと活動し、その中から色々な事に気づき、成長していける保育園を目指して保育していきたいと思えます。

園長 川島優子

味さく良保育園



3年目を迎えた味さく良保育園は、現在100名の子どもたちが、毎日元気に登園しています。開園時59名のスタートでしたので、倍に近い人数になりました。

4月には園中に響き渡っていた泣き声は笑い声に変わり、おんぶにだっこだった乳児さんは伝い歩きができるようになり、給食もたくさん食べられるようになりました。

入園して3ヶ月、子どもたちはぐんぐん成長しています。幼児ぐみは、お天気の良い朝は園庭に出てラジオ体操にマラソンと体力作りに頑張っています。これから来る暑い夏も元気に乗り切れそうです。

4月に2名の新規職員を迎え、正規職員18名、パート職員6名となりました。

た。ベテランと、学校を卒業したばかりの先生と、毎日協力しながら保育にあたっています。夏から冬にかけて、行事もたくさんありますが、日々目に見える程の成長をしている子ども達も職員も、きつと充実した毎日を過ごせる事と思います。高柳福祉会に携わる皆様も、どうぞお元気にお過ごし下さい。



事務職 峯村敦子

